

授業日	H19 / 7 / 5	教科名	社会科	単元名	近代日本の歩み
-----	-------------	-----	-----	-----	---------

生徒の実態について	活力ある学びについて
<p>[学習への意識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中は話をしっかりと聞き、指示された活動にもきちんと取り組む。 悩み相談会に関するアンケート(5月)では、「<u>進んで勉強しようという気持ちになれない(18%)</u>」、「<u>勉強が好きになれない(13%)</u>」など、他学年よりも学習への意欲が欠如している。 <p>-----</p> <p>[学力について]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県学力診断テスト(4月)の結果から、県平均とほぼ同程度の学力がある。 学習内容を理解しようと、継続的な取り組みができる。(家庭学習等を含む) <u>課題解決のために、資料(事実)を活用して考察を行ったり、他者の考えから自身の考察を深めたりすることが不得手</u>である。 	<p>[本校の考える活力ある学びの姿]</p> <p>「活力ある学び」を、教科の特性が生きており、生徒が学習の主体であるという自覚をもって行う学習ととらえている。</p> <p>そこでは、生徒が自ら課題意識をもち、見通しをもちながら学習を進め、学んだという成就感のもてる学習が展開されていることをめざしている。</p> <p>-----</p> <p>[各教科で求める活力ある学びの姿]</p> <p>社会的事象に対する興味・関心をもち、<u>自己の課題をもとに調べて考え、課題を解決していく</u>ことで理解を広げ、深めていく。さらに新たな疑問を発見し、追究していく(いこうとする)姿。</p>

<p>本時で求めたい活力ある学びの姿</p> <p>課題を明確にもち、資料を活用して、友達と学び合うことでその解決をめざす姿</p>
--

活力ある学びを実現する具体的な方策	教科の特性について
<p>① 歴史的な事象への興味・関心を高め、学習課題が明確にもてるような導入の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 那珂郡(地租改正反対)一揆 <ul style="list-style-type: none"> → 新政府の政策に対する人々の不満は他にもあったのか。 → 維新の諸改革の是非は? <p>② 友達と学び合うことで課題解決をめざしながら、考察を広げ深められるようなグループ学習の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 役割分担による調べ学習 ワークシートの工夫 判断グラフの活用 	<p>[学習指導要領・単元の内容等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治維新の経緯のあらましの理解を通して、<u>近代国家の基礎</u>が整えられたことに気づき、<u>それらがもたらした、人々の生活の大きな変化</u>について考える。 <p>-----</p> <p>[各教科への生徒の意識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的な分野への学習意欲は高い。 近現代について、これまでの学習での既知の事実や印象は少ないが、<u>現代につながる身近な時代としての関心はある。</u> 野口英世、福沢諭吉、伊藤博文

<p>活力ある学びが実現したかどうかの検証の視点</p>
<p>① (抽出)生徒の観察やノートの記述から、授業を通して、学習課題解決への意識を連続することができたかどうかを検証する。</p> <p>② (抽出)生徒の観察やノートの記述から、グループ学習のなかで、学習課題に対する考察を広げたり深めたりすることができたかどうかを検証する。</p>

めざす生徒の姿	課題を明確にもち、資料を活用し、小集団で検討し合うことでその解決をめざす姿
---------	---------------------------------------

1 単元 近代日本の歩み

2 目標

- 明治新政府の政治方針や諸政策の内容や目的，当時の外交や国内の社会状況について，学習課題をもとに，調べようとしている。（社会的事象への関心・意欲・態度）
- 明治新政府の政治方針や諸政策の内容や目的，当時の外交や国内の社会状況について，資料を活用して多面的・多角的に考察することができる。（社会的な思考・判断）
- 課題解決のために必要な資料を選択し，明治新政府の政治方針や諸政策の内容や目的，当時の外交や国内の社会状況について，読み取ったことを論拠として自分の考えをまとめることができる。（資料活用の技能・表現）
- 明治新政府が短期間のうちに行った諸改革の内容や目的，諸改革による社会や人々の生活への影響について理解することができる。（社会的事象についての知識・理解）

3 単元について

本単元は，学習指導要領の歴史的分野・内容（5）「近現代の日本と世界」のイを受けて設定した。ここでは「明治維新の経緯とあらましを理解させ，新政府の諸改革により近代国家の基礎が整えられたことに気付かせるとともに，人々の生活の大きな変化について考えさせる。」ことをねらいとしている。新政府の成立から明治10年ごろまでの短期間に，近代国家の基礎が整えられていったこと，欧米列強が勢力を広げる複雑な国際情勢の中で独立を保ち，近代国家を形成していった政府や人々の努力等に気付かせたい。また，諸改革や文明開化がもたらした人々の生活の大きな変化についても考えを深めさせていきたいと考える。

本学級の生徒は，明るく朗らかで，話をしっかりと聞き，能動的な作業学習や調べ学習にもきちんと取り組む。県学力診断テスト（4月実施）の結果からは，県平均とほぼ同程度の学力があると考えられ，学習への継続的な取り組みもできる。反面，悩み相談会に関するアンケート（5月実施，第2学年全体の集計）では，「進んで勉強しようという気持ちになれない（18%）」，「勉強が好きになれない（13%）」など，他学年よりも学習意欲の欠如が顕著であるという結果が見られた。また，課題解決のために，資料を活用して考察を行ったり，他者の考えから自身の考察を深めたりすることが不得手な面も見られる。

そこで，本単元では，授業への関心・意欲を高め，課題解決への見通しをもった活動ができるように，導入における工夫を行っていこうと考えた。絵図やグラフ等からだけの事実認識でなく，文章による資料もしっかりと読み込ませるなどして，学習意欲を喚起したい。また，他者の考察から自身の主張を見直すために，小集団によって歴史的事象の解釈を検討する場面を設けようと考えた。資料からの論拠をもとに，合意を形成していく体験を味わわせていきたいと考えるからである。

4 活力ある学びとの関連について

本時では，第一に，歴史的事象への関心を高め，学習課題が明確にもてるような導入の工夫をしていきたい。新政府の三大改革についての内容や目的などを押さえたあとで，全国的にも著名な「那珂郡の地租改正反対一揆」について取り上げる。身近な地域でおこった騒動が全国的な展開のきっかけとなったことを知り，驚くと同時に「地租改正が人々に受け入れられなかったのはなぜか。他の改革はどうであったのか。」といった課題意識が生まれると考える。

第二に，課題解決をめざしながら，自分の考察を広げたり深めたりすることができるような小集団学習の工夫をしていきたい。政府と国民の立場から，三大改革についての資料を考察するという活動を，小集団のなかで役割分担をして行う。さらに，それぞれが調べた事実をもとに検討することで，各自の考察を広げたり深めたりすることができる。と考える。

5 単元計画（4時間）

次	時	学 習 活 動	評 価 の 観 点
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 新政府による改革が短期間で実施されたことを理解するために、明治維新に関する事項を年表にまとめる。 新政府がめざした国づくりの方針に気付くために、「五か条の御誓文」の内容をグループで検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小集団による資料「五か条の御誓文」の検討を通して、政府のめざした国づくりの方針を理解することができる。（知識・理解）
	2	<ul style="list-style-type: none"> 明治初期に行われた外交のねらいを理解するために、「国家」が成立する要件を検討し、国境画定の経緯をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の領土画定や東アジアの近隣諸国との外交関係について、資料を正しく読み取ったり地図に表現したりすることができる。（資料・活用）
	3 (轉)	<ul style="list-style-type: none"> 明治維新が社会や人々の生活に大きな変化をもたらしたことについて考察するために、政府や国民の視点から三大改革についてグループで検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新政府の諸改革の内容や目的について、資料から読み取ったことをもとに、人々に与えた影響を考察することができる。（思考・判断）
	4	<ul style="list-style-type: none"> 明治維新の目的と影響を理解するために「殖産興業」などの内容をまとめ、学習した諸改革と合わせて検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新政府が国内を統一していった過程やその内容・目的等を、諸改革の具体例などを通して理解することができる。（知識・理解）

6 本時の指導

(1) 目 標

適切に資料を活用しながら新政府の諸改革について調べることを通して、政府や国民などの立場から、その目的や影響について考察することができる。

(2) 資料・準備

(明治維新にかかわるできごとをまとめた)年表 (日本周辺の)地図
ワークシート 「那珂郡地租改正反対一揆」錦絵の拡大図及び説明用資料
三大改革についての各資料

(3) 展 開

学 習 活 動	支援・評価 (◎)
<p>1 新政府の行った富国強兵にかかわる改革の概要をまとめる。(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学制(1872年)→教育の普及 徴兵令(1873年)→西洋的軍隊の整備 地租改正(1873年)→国家財政の安定 <p>2 「那珂郡地租改正反対一揆」の錦絵を見て、本時の学習課題について話し合う。(全体) (予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの人が処罰されてひどい。 なぜ、そこまでして反抗したのだろうか。 地租改正は、人々のためになったのか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>資料を活用して、新政府の諸改革の特徴をまとめよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容についての見通しをもって学習に取り組めるように、絵画資料などを用いながら、三つの改革のあらましについて確認する。 諸改革の目的について、政府の立場から整理する。 身近な地域でおこった歴史的な事象が全国に影響を与えていったという事実から関心を高め、その内容について考察することで、本時への問題意識を喚起する。 一揆の様子については、簡単な資料を用意し、あらましについて触れる程度の説明を行う。

<p>3 資料を活用して、新政府の行った諸改革の目的や内容等をまとめる。 (個人) (活用が予想される資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就学率の推移のグラフ ・ 小学校の出席率のグラフ ・ 徴兵の免除規定の資料 ・ 兵役免除の割合のグラフ ・ 地租改正前後の納税方法に関する比較の図 ・ 財政収入の移り変わりのグラフ など <p>4 新政府の行った諸改革について話し合う。 (グループ) (予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現実的には通えない人もいたが、多くの子どもが教育を受けられるようになった。 ・ 徴兵逃れも多く見られたが、近代的な軍隊の基礎ができあがった。 ・ 江戸時代までと異なる納税方法に抵抗もあったが、財政の安定につながった。 <p>5 話し合ったことをもとに、新政府の行った諸改革についての考えをまとめ、発表する。 (個人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての改革についてまとめることは時間的に困難だと考えられるので、1つ以上の改革についてまとめることを助言する。 ・ 政府と国民、それぞれの視点から諸改革の目的や影響をまとめるための資料を選択し、読み取った事実をまとめるよう助言する。 ・ 資料の読み取りが困難な生徒には語句の意味を補足説明したり、絵図を見る視点を助言したりする。 ・ 他の生徒が調べた事実で、新たに知ったことがらなどについては、色を替えてワークシートに書き加えるように助言する。 ・ 諸改革の内容や影響についての考察を深めるために、政府と国民の双方に目を向けた発言を取り上げる。 <p>◎ 新政府の諸改革について調べた事実から、その目的やその影響などについて、政府や国民などの立場から考察することができる。 (ノート、発表)</p>
---	--

(4) 板書計画

